

1 単元名 日本のがた

「世界の国から見た日本の位置」(全4時間)

可児市立中部中学校 小野木 靖

2 単元のねらい

地球儀や世界地図を利用して、世界的な視野から見た日本の位置関係を、絶対的位置と相対的位置の双方からとらえる見方を学ぶことによって世界の中での日本を考えるための座標軸を持たせることができる。

3 単元で培いたい学び方

地球儀や地図を活用することを通して、我が国の国土の位置及び領域の特色と変化を広い視野から考え理解する学び方。

4 内容のまとめりごとの評価規準 地理的分野の内容(1)イ(ア)「日本の位置と領域」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を意欲的に追究し、日本の地域構成をとらえようとしている。	日本の地域構成を日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を基に多面的・多角的に考察している。	日本の地域構成をとらえるために地球儀や地図を活用するとともに、日本の地域構成を追究し、考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	日本の地域構成を日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を基に理解し、その知識を身に付けている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	日本の国土の領域の特色と変化や日本の国土の絶対的位置と相対的位置を地球儀や地図を活用して意欲的に追究している。	日本の国土の絶対的位置と相対的位置や日本の国土や領域の特色と変化を基に世界的視野から日本の地域構成を多面的・多角的に考察したりしている。	地球儀や地図を活用して、日本の国土の位置を絶対的位置と相対的位置で表し、日本の国土の領域の特色と変化をとらえることができる。	日本の国土の絶対的位置と相対的位置、日本の国土の領域の特色と変化を理解し、その知識を身に付けている。
学習活動における具体的評価規準	地球儀や地図を活用して日本がどの位置にあるのかを、一つ以上の方法で日本の位置を横にある大陸や別の国の地図を示し、比較対象をはっきりさせて説明できる。 【第1、2時 ノートの記述・発言内容】	日本の国土の領域の特色と変化を基に世界的視野から沖ノ鳥島に3億円もかけた理由を漁業に関することを考察している。 【第3時 発言内容】	地球儀や地図をみて日本は回りが海であることや、日本の領域から日本の国境が海であることがわかる。 【第4時 発言内容・ノートの記述】	地図や地球儀上で日本の国土の絶対的位置と相対的位置を理解することができる。 【第4時 授業のまとめ】